

青学年 69回生 学年方針

校訓 「自主」「協同」「責任」

1. 3年間共通の方針

- (1)たくましい心身
- (2)本質をつかむ知の追求
- (3)行動を起こす勇気と継続する粘り強さ
- (4)他者を感じる力

2. 1学年の方針

- (0)基本的生活習慣の遵守
すべての基本は、自分の生活の管理から。
- (1)困難に負けない心、バランスのとれた心と体をつくる。自己の適正について考える。
- (2)授業を中心とした学習スタイルの確立
自分で考えることで、学問の面白さ・深さを体感する。
- (3)出る杭になる。あきらめず続ける姿勢を習慣化する。
指示待ちにならないように、自分で考えまずは動く。そして、それを続ける姿勢を育てる。
- (4)注意を外に向け、やさしさ・強さを備えた集団を作る。
他者を考えることは、自分を考えることにもなる。心地よい集団になれる行動を実践する。

3. 2学年の方針

- (1)「強く」「明るく」「元気よく」
学校に限らず、全ての活動を楽しむためには、強さ・明るさ・元気の良さが大切である。心身の強さがあるからこそ、自分の能力を最大限に発揮することができる。毎日の生活のコントロールをしっかりと、プレッシャーに負けない心と体を作る。
- (2)「1年次 計画、習慣」「2年次 継続、深化」「3年次 貫徹、実行」
1年次の学習習慣を改良・継続し、表面的な学習にならないように「自分に落とす」学習を実践する。
- (3)「人生をデザインする」ために「逆算する力」をつける。
そのためには、よく調べること、よく考えること。そして、今やるべきことを「今、実行する」こと。
- (4)「集団力」
学校行事や部活動の中心は2年生。伝統を継承しつつ、変えるべきものは変え、行事を進化させる。そのためには、学年という集団の力が大切。各種行事について、一高の一員として自己の役割を果たすとともに、社会に出てからの礎となる人間力をつける場とする。

4. 3学年の方針

(1)「自律」

自律とは、自分の決めた規律に従って、自分をコントロールすること。プレッシャーのかかる状況では、どれだけ自分をコントロールできるかが重要である。心身の健康なくして、結果が出ることはない。運動や趣味の時間も大切に、計画性のある時間の使い方ができるようにする。

(2)「3年次 貫徹, 実行」

「1年次 計画, 習慣」「2年次 継続, 深化」

2年次の習慣を進化させ、ぶれない気持ちで実行する。あせらずに、目の前のことに集中する。慢心してはいけないが、これまでの成功体験を自信として、徹底して実行する。

(3)「3割増しの自分ができることにトライする」

重すぎる目標、軽すぎる目標では自分を伸ばすことはできない。ちょっと背伸びしないとできないことを、3ヶ月後、1ヶ月後、1週間後それぞれで考え、今やることを集中して実行する。逆算して考えることを習慣化する。

(4)「人間力」

目先のことばかり考えていると、大切なものが見えなくなる。困ったときに助け合える一生付き合える友人を大切にする。

5. 3年次の具体的な対応

(1)「挨拶」「身だしなみ」「時間を守る」等の基本的生活習慣の遵守、「整理・整頓」

といった環境の整備が個々の力の伸長に繋がる。面談やアンケートを通して、生活のチェックを行い、生活や学習の振り返りの時間を大切にする。貴重な時間をスマホで潰すことがないように、本校3年生としての自覚ある行動を期待する。学年の職員は、生徒の観察に努め、いつでも相談できる体制を整える。

(2)本校の進路指導は、年間4回の定期考査と年間3回の実力考査及び校内模試の点数で行う。模試結果に一喜一憂することなく、あくまで授業を中心とした本物の学力を習得する。まずは、夏休み明けの試験で結果が出せるように、日々の活動を大切にする。放課後の教室利用や学習館の土曜日・祝日利用で、学習のリズム作りを行う。

(3)年2回の進路講演会、年6回の学年集会、進路室の利用、LHRの時間を通して、的確な進路情報を把握する。「継続してできることは最上級の能力」であることを自覚し、地道な努力の継続を学年全体で続ける。仲間と切磋琢磨し、学習面や学習面以外での人間的な成長も果たす。

(4)部活動や委員会活動、学校行事など校内の活動に積極的に関与し、土浦一高3年生としての役割を果たす。自分たちの役割以外に、後輩を育てることも意識して行い、先を見通した活動を実行する。まずは、クラスを大切に、生活でも学習でも集団で高められる仲間作りをする。

学年は、学年主任、学年副主任、担任8人、副担任2名の12名で構成される。行事は、教務部や進路指導部、生徒指導部の協力を得ながら、学年の教員が企画・運営して全て実施する。数多くのOB・OGの協力を得ながら、土浦一高ならではの行事を実施している。卒業生は、在学中にOBOGからやっていただいた体験を、今度は後輩達のために実施する。政界・財界・研究機関で活躍している多くのOBOGは、進路選択を考える上でたいへん心強い存在であり、その世界での最先端のお話は、たいへん刺激的である。

主な学年行事(69 回生)

1 年次

- ・土曜講座(年 15 回)
- ・入門合宿(4 月)
- ・夏季課外(8 月)
- ・企業研究所訪問(東京・筑波 32 コース 64 事業所)(11 月)
- ・道徳講話(幡谷裕一先生)(12 月)
- ・進路講話(佐藤慎一先生)(12 月)
- ・探求学習発表(1 月)
- ・OBOG 進路ガイダンス(社会人 10 名)(2 月)
- ・GBIC(SGH)発表(3 月)
- ・模擬試験(年 4 回)
- ・東大キャンパスツアー(8 月)

2 年次

- ・土曜講座(年 15 回)
- ・東大研(6 月～)
- ・学年講演会(市村仁先生)(6 月)
- ・オープンキャンパスへの参加(8 月)
- ・夏季課外(7 月)
- ・東大研究室訪問(8 月)
- ・医学部及び病院見学(筑波大・東京医科歯科大学 8 月)
- ・SGH 海外研修(シンガポール・マレーシア)(SGH 生徒)(8 月)
- ・サマースクール(群馬県水上町)(8 月)
- ・OBOG 進路ガイダンス(卒業生 19 名)(11 月)
- ・進路講話(吉田直史先生)(12 月)
- ・冬季課外(12 月)
- ・GBIC(SGH)発表(1 月)
- ・3 年 0 学期始業式(2 月)
- ・模擬試験(年 5 回)
- ・医学研(6 月～)

3 年次

- ・学習館開放(年 54 回)
- ・学年集会(年 6 回)
- ・東大研(4 月～)
- ・進路講演会(荒瀬克己先生)(6 月)
- ・夏季課外(7 月, 8 月)
- ・センター試験説明会(9 月)
- ・進路講話(吉田直史先生)(12 月)
- ・冬季課外(12 月)
- ・センター試験前集会(1 月)
- ・模擬試験(年 9 回)
- ・医学研(6 月～)

